

Q.光熱費はどれ位削減できますか？目安も教えてください。

(財) 省エネルギーセンターの試算によると、夏場に冷房の設定温度を1度上げることで

(例 : 25℃ → 26℃)、冷房にかかる電気代10%の削減効果があるそうです。

ガラスコーティングを窓ガラスに施工することにより、太陽熱の室内への侵入を大幅軽減するので、10~30%程度、冷房にかかる電気代を節約できるものと思われます。

Q.夏は涼しくて良いが、冬はかえって寒くなるのでは？

コーティングがカットする赤外線は、ジリジリと肌に感じる熱をもつ近赤外線領域です。

冬場にポカポカと暖かく感じる領域の赤外線はカットしません。([分光特性グラフ](#) 参照)

コーティングしたことで、冬かえって寒くなったり、暖房効率が悪くなったりということは一切ございませんので、ご安心ください。

Q コーティングは何年くらい持ちますか？

JIS規格にもとづいた耐候促進試験の結果、10年経過してもコーティング被膜に損傷や劣化は見られず、透明性もそのまま、赤外線カット効果も持続していました。

Q 掃除をするときに気をつけることはありますか？

金属製の清掃道具や、研磨剤の入っている洗剤やスポンジ等の使用は避けてください。

通常は、湿った柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を薄めたものを使って清掃してください。

効果を持続させるためにも、ガラスクリーナーや、塩素系、アルカリ性の洗剤は使わないでください。

Q 施工の時間はどれくらいかかりますか？

ガラス面積、作業環境(家具・カーテン・フィルム剥離の有無など)によって異なります。

コーティング後の乾燥にかかる時間は、季節や天候・湿度に左右されますが、約1~3時間程度で表面は乾燥し、室内への出入りなどは自由に行えるようになります。

※ 被膜が最高の硬度に硬化するには24時間以上必要です。

また、細かいチリやホコリの付着をさけるため、コーティング作業をしている部屋への出入りは、できるだけお控えください。

Q 人体への影響はありませんか？

厚生労働省が発表したシックハウスの対象となる化学物質は含まれていません。

コーティング剤そのものには揮発性の溶剤が含まれていますが、施工時に換気をすれば大丈夫です。もちろん乾燥後(被膜硬化後)は、揮発することはありません。

硬化したコーティング膜を誤ってなめた場合にも、危険物質が溶出することはありません。

(財)日本食品分析センターにて試験済みです。

Q 虫が寄り付かないそうですが、こういったメカニズムですか？

一部の昆虫には、走光性といって、ある波長の紫外線に引き寄せられる性質があります。

そのため、夜間に室内の蛍光灯から発生する紫外線に引き寄せられて、窓に集まります。

ガラスコーティングすると、蛍光灯の紫外線が外に漏れないので、ユスリカや蛾といった種類の昆虫が、窓ガラスに集まりにくくなります。